一般社団法人 山形県言語聴覚士会　会報

2018.3.31
No.47

事務局：合同会社ヴォーチェ ことばのへやバンビーナ松原 内

会 長 挨 拶

山形県言語聴覚士会の田口です。皆様いつも大変お世話になっております。

2018 年の医療介護報酬同時改訂の動向に関しては皆様の職場でも話題となり対応を迫られていると思います。前回の診療報酬改定では、例えば回復期リハビリテーション病棟はアウトカム志向がさらに強くなり、さらには医療分野のみならず、介護分野でもリハビリテーション機能に対するアウトカムが重要視されるようになりました。言語聴覚士等のリハビリテーション専門職は高度な知識や技術を持つ事はもちろんですが、それは大前提であり、我々に求められていているのはアウトカムまでもマネジメントできるリハビリテーション専門能力であるとも言えます。言語聴覚士もアウトカムの認識に今後一層力を入れていく体制や教育が必要になってきます。

話は変わって「連携」と言う言葉が医療介護関連分野でも徐々に定着してきました。山形県言語聴覚士会も地域と一体とり、各医療機関や他医療団体との連携体制の整備が急がれます。我々も組織体制の整備を少しずつ行ない、昨年度はブロック単位での活動を推進していく体制も整えていきました。単年での整備は難しいと思いますので、今後も時間をかけて「人と人」「組織と組織」をつなぐ体制を整えていく必要があります。今後の理事会から事業計画が出されるかと思いますが会員の皆様もご理解いただき、ご協力頂きたいと思います。最後に会員の皆様、2017 年度は大変お疲れ様でした。2018 年度も皆様と協力して当会を盛り上げていきましょう。

少し先になりますが、「一般社団法人 山形県言語聴覚士会総会」が 2018 年 6 月 10 日（日）に山形市保健センター（霞城セントラル内）にて開催することが決定いたしました。研修会も企画しておりますので、万障繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願いいたします。

（鶴岡協立リハビリテーション病院　田口 充）

症例検討会　報告

２月 10 日（土）、ビッグウィング研修室にて症例検討会を開催しました。32 名の参加がありました。昨年度に引き続き、学会形式で 15 分ずつの発表と質疑応答、抄録のみの配布で行いました。

２部構成で前半は三友堂リハビリテーションセンター大友美香さんを座長に２演題、山形市立病院済生館岡崎資恵さん、菊地恵さんより発表頂きました。後半は国立病院機構山形病院・訪問看護ステーションライズの伊藤さゆりさんを座長に２演題、日本海総合病院伊藤友希さん、三友堂訪問看護ステーション阿部裕之さんより発表頂きました。

摂食嚥下障害、高次脳機能障害、訪問リハビリテーションでの言語聴覚療法と分野も多岐にわたり、参加者からの活発な意見交換が行われました。各施設での先進的、意欲的な取り組みを知り、普段の悩みを解決するための一助となるような発見もあり、県内の言語聴覚士の連携が図られる場ともなりました。

発表者は、日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム基礎講座終了に必須の「症例検討・発表」に該当します。また参加者も生涯学習プログラム１ポイントが取得できます。年一回の貴重な県内での発表の機会ですので、来年度も多くの皆様の発表と参加をお待ちしております。発表者・参加者の皆様、ありがとうございました！

（新庄徳洲会病院：沼沢 明日美）

平成 29 年度 ブロック研修会報告（最北）

平成３０年３月１０日（土）東根市まなびあテラスを会場に、第１部は長町病院リハビリテーション科医師金成建太郎先生からの「摂食リハビリテーションに関する話題」のご講演、第２部は最北ブロックお悩み相談会と題し各施設の紹介と意見交換を行いました。

参加人数は 14 名（最北ブロック会員 12 名、ブロック外会員２名）で、少数精鋭、質問の飛び交う活気ある会となりました。金成先生のご講演では、運動学習の考え方に基づいた摂食嚥下リハビリテーションの課題設定の仕方や、動画を交えて様々な症例の評価と対応をシンキングタイムを入れながら分かりやすく説明して頂きました。また骨棘や閉じ込め症候群の症例など普段教科書や講演では学ぶことのできない内容や、最北ブロック会員からのアンケートで希望の多かった栄養や血液データのみかた、肺炎像の判断のポイントなども教えて頂き、第２弾を望む声も聞かれました。

後半は主に摂食嚥下リハビリテーションにおける悩み相談、医師・看護師との連携について話し合いました。看護師には見た目に分かりやすい食事介助の伝達表の工夫など、普段各施設で懸命に取り組まれている様子が伝わりました。アドバイザーとして引き続き参加頂いた金成先生からは、医師と摂食嚥下リハビリテーションに取り組む際の疾患別の難易度設定、成功を共有する・教えてもらう側になる・褒めるなどの笑いを交えてアドバイスを頂き、明日の臨床が楽しみになるような雰囲気で明るく閉会しました。

最上地区と村山地区、集まるにも意外と距離がある２地区合同の最北ブロック。終了後同会場内での懇親会では、最上メンバーは東根市にはよく行くものの村山メンバーは最上にはほとんど遊びに行かないなど、悲しい僻地の現実も思い知りましたが笑、終始笑いの絶えないコミュニケーションの中、今後の連携、互いの研鑽につながる希望の持てる機会となりました！また次回が楽しみです。

（新庄徳洲会病院：沼沢 明日美）

平成 29 年度 ブロック研修会報告（庄内）

2 月 17 日、　丹治和世先生（山形県立こころの医療センター　精神科医長）を講師にお迎えし、「精神発達障害の神経心理学」をテーマに庄内ブロック第 1 回目の講習会を開催しました。

発達障害の基礎知識から始まり、先生が担当された症例の紹介を基に症状の説明を詳しく頂きました。私にとっては、発達障害を学ぶのは学生の頃以来であり、知識の復習ではありましたが、新鮮な気分でした。途中からは、新たな情報と専門的な内容に四苦八苦した場面もありましたが・・・最後まで、興味深く拝聴させて頂きました。発達障害の診断を受けた方には、大学や社会に出た後に診断されるケースも多く、中には長年、人間関係や学習習得に苦労され、その過程で精神疾患を発症される方も多いとの事実に、胸が痛みました。又、これまで私が関わってきた高次脳機能障害を発症された方には、「長年の引きこもり生活」や「精神疾患の既往」が背景にある方もおられた事を思い出し、今後の臨床において、新たな視点となりました。

最近では、新聞やテレビの特集や SNS、書店でも「発達障がい」を取り上げているのを目にします。社会全体で、理解や支援をする動きが活発になってきているのだと感じます。その中で、「私たち言語聴覚士にできる事は何か？」を考える良いきっかけになったと思います。丹治先生には、本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後に、今回は、約 20 名の参加があり、アットホームな会を開催できました。庄内ブロックには、まだまだ多くの会員がおります。次回以降は、参加者も更に増え、庄内の ST の交流の場の役割も果たせるよう、頑張っていきたいと思います。皆さんのご協力、よろしくお願い致します。

（庄内余目病院：伊藤 希）

平成 29 年度 ブロック研修会報告（村山）

去る、2 月 4 日(日)に山形済生病院において第一回目の研修会を開催しました。

第一部は認定看護師 2 名を講師に迎え、吸引の講義と実習を行いました。座学で吸引の基礎を学んだあとは、2 グループに分かれて、デモ人形を用いての吸引の実習を行いました。臨床ですでに吸引を実施している方、行ってない方と様々でしたが、みなさん積極的に質問をしながら、和気あいあいとした雰囲気の中で実践的な実習となりました。

第二部では 4 グループに分かれてディスカッションを行いました。会員同士の顔合わせということもあり、初めにグループごとに「こころカード」を用いた自己紹介を行い、会員同士の心の距離が縮まったところで、「吸引はどの程度行っている？」「どの領域の患者さんが多い？」「ＳＴ外来は行っている？」「患者さんに運転を許可する基準は？」などの項目についてディスカッションしていただきました。お茶やお菓子を食べながらリラックスした雰囲気で、時には笑いもありながらあっという間の 3 時間でした。アンケートでも参加者のまずまずの満足を得た結果となりました。

ご参加いただいたみなさん、大変ありがとうございました。慣れない会の運営で反省点が多いのですが、今後も皆さんに有益な情報発信や研修会の企画をしていきたいと思いますので、ご要望などお寄せいただけたら幸いです。またブロックの LINE を作りましたので、日頃の情報共有、コミュニケーションを密にしていきましょう。まだご参加されていない方は、ぜひ参加してブロック活動を盛り上げてください。詳細は、済生病院梁瀬までお問い合わせください。

（山形済生病院：梁瀬 文子）

平成 29 年度 ブロック研修会報告（置賜）

今年度、置賜ブロックでは地区の新人 2 名を 11/ 12 に東北摂食嚥下リハビリテーション研究会に派遣し、1/29 に伝達講習を行ってもらいました。新人 2 名にとっては外部研修への参加し伝達講習を行うということで知見を広げることが一番の目的でしたが、それ以外にも伝達講習の仕方や発表の方法等を体感的に学び、今後に必要な経験を積むこともできたようです。伝達講習には 11 名の参加があり、参加した先輩 ST も発表を通じ新たな知識を得るとともに、伝達講習の内容について様々な年代の目線からディスカッションを行うことで、考えを深め合うことができました。同じ知識を共有し同じ地区で活動することで、今後の円滑な連携に繋がると期待しています。置賜地区では以前から毎月 1 度の勉強会を開催してきましたが、今年度は初の研修会への派遣と伝達講習ということでまた活動の幅が広がりました。来年度以降も活発に地区内での交流を深め、皆で置賜地区内での ST の活躍の機会や場を盛り上げていきたいと思います。

（三友堂リハビリテーション病院：菊池智美）

役員会 議事録

9 回	2017.7.1	山形市総合福祉センター	田口、荒井、大友、石川、中島、清野、沼澤、渡邉、我妻、千葉	部門報告、地域包括ケア、通いの場、理事改選、その他
10 回	2017.7.30	山形市保健センター	田口、荒井、大友、石川、斎藤、清野、石塚、沼澤、渡邉、千葉	部門報告、地域包括ケア、総会通いの場、その他

会計からのお願い

平成28年度及び29年度の年会費が未納の方がいます。早急にお支払いいただきますようお願い申し上げます。平成29年度より会費が7000円となります。お間違えのないようお願いいたします。

【平成29年度】
入会金：1000円（新規会員のみ）
会 員：7000 円
準会員：3000円
[振込口座] 振込支店名 ： 山形銀行 文園（フミゾノ）支店
預金種目 ： 普通預金　　店番号 ： 575　　口座番号 ： 213292